

津波の研究課題の現状

資料3

	現時点における機構の解明、手法の確立	今後必要な調査・研究	
		早急な研究が必要	やや長期的課題
調査・計画段階	・海域における津波の挙動把握	津波継続時間評価の精度向上 河川遡上の予測手法	ソリトン分裂波の碎波変形やエッジボアの予測手法
		侵食の進行による津波遡上への影響把握	
	・陸域における津波の詳細な挙動把握	市街地での津波・漂流物の挙動 地形変化・洗掘の予測手法 樹林帯・建築物の津波遡上低減効果の評価手法 陸上構造物に作用する波力の評価	津波被害低減に資する土地利用 海岸保全施設に対する付加機能
		遡上過程・避難行動に基づく被害想定手法 地震動と津波による複合的な施設被害の予測手法	
		被害関数の精度向上	
	事業実施 評価段階	・堤防等の設計手法	津波に対する構造物の耐力性能
・津波ハザードの情報提供手法		避難意識の向上策	ハザードマップの改良(リアルタイム化等) バーチャル・リアリティの作成